

千葉県中学校新人野球大会船橋予選 新型コロナウイルス感染予防対策マニュアル

船橋市小中体連軟式野球専門部

(1) はじめに

活動再開によって感染を拡大させないことは勿論のこと、無症状であっても他人に感染させることがあることを、日々の活動や試合に関わる全ての人が認識しておいてください。また、活動再開によって医療資源や医療従事者への負担等の問題があってはならないことを意識して活動や試合を計画してください。

(公益財団法人全日本軟式野球連盟「JSBB 感染予防対策ガイドライン」抜粋)

(2) 感染予防対策 (各方針)

【千葉県】

- ①「3つの密」が発生しない席配置や「人と人との距離の確保」
- ②マスクの着用
- ③参加者名簿を作成して連絡先等を把握しておくことなど催物の開催中や前後における選手・出演者や参加者等に係る行動管理など、基本的な感染防止策を講じる。

【船橋市】

- ①対人距離を確保 (1.5m～1.0m) する
- ②密閉空間、密集場所、密接場面を避ける
- ③大声での会話や応援等を禁止する
- ④施設の定員を算出し、入場を制限する
- ⑤人が多い時は、利用時間を短縮する
- ⑥手洗い・手指の消毒を徹底する
- ⑦マスクを着用する (運動中の着用は利用者等の判断。夏場は強制しない)
- ⑧咳エチケットを遵守する
- ⑨発熱 (37.0℃以上平熱比1℃超過) した場合は入場を制限する。
- ⑩息苦しさ・強いだるさがある場合は入場を制限する
- ⑪咳・咽頭痛がある場合は入場を制限する
- ⑫過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合は入場を制限する
- ⑬「施設利用者カード (個人)」、「施設利用者名簿 (団体)」を作成し、施設へ提出するか各団体が保管 (1か月間) する

(3) 概要 (要項より抜粋)

①期間：9月6日(日)・13日(日)・20日(日)・21日(月)・26日(土)・27日(日)

【予備日：22日(火)・10月4日(日)】

②規模：船橋市の公立中学校と千葉日大第一中学校 (参加チーム24チーム)

連合チーム：三山中・豊富中、高根台中・古和釜中 不参加：小室中、金杉台中

③会場：Aブロック1回戦4試合(9月6日)…市内中学校2会場

Bブロック1回戦4試合(9月13日)…市内中学校2会場

Aブロック2回戦4試合(9月20日)…市内中学校2会場

Bブロック2回戦4試合(9月21日)…市内中学校2会場

各ブロック準決勝4試合(9月26日)…市内中学校・運動公園野球場

各ブロック決勝2試合(9月27日)…船橋中学校

④観客：無観客で実施

(4) 感染拡大予防ガイドライン

①大会参加募集時の対応

- ・大会参加募集に際して、感染拡大防止のために参加者に遵守すべき事項を、明確にして、協力を求めることを通知する。なお、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあることがあり得ることを周知する。
- ・発熱、咳、倦怠感などの風邪の症状および嗅覚味覚を感じない生徒の参加は認めない。また、14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された生徒の参加は認めない。
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- ・選手、チーム関係者は移動及び球場に入る際に、必ずマスクを着用する。
- ・手洗い、マスク着用時の咳エチケットの励行。
- ・屋外施設利用時において唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
- ・感染者が出た場合は大会を即中止とし、感染が拡大した場合などにも中止とする。
- ・大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿等を関係機関に公表する場合があることを周知する。

②大会当日の参加受付時の対応

- ・大会本部には、手指消毒剤を設置すること【専門部で準備】
- ・発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかけること(状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することもある。)
- ・本部の役員はマスクを着用する。

③大会参加者への対応

- ・選手は検温を実施し会場にくること。
- ・所定の参加承諾書を提出した選手のみ、参加を認める。
- ・顧問は、選手の健康観察カードに発熱、咳、倦怠感などの風邪の症状や嗅覚味覚症状の異常がないことを確認し、14日前からチェックシートに記載しておくこと。
- ・顧問はチェックシート（その1、その2）を本部に提出すること。提出が確認できなかった場合、そのチームは大会への参加を認めない。
- ・人との距離は2メートルを目安に確保する。（最低1mとし、ベンチ内では一定間隔を保つように努力する。）
- ・全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控える。
- ・チーム内及び大会において、感染者は発生した場合は、チームの活動停止ならびに大会を即中止とする。
- ・競技中のマスク着用については、選手、審判員の判断とする。（着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間はマスクを着用することを推奨する。）
- ・ゴミは各自で持ち帰る。
- ~~・応援については、観客席が密にならないように、一定の距離を保って観戦するようにチームごとで応援者に注意喚起を行う。~~
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、顧問に対して速やかに濃厚接触者の有無について報告する。また、顧問は主催者・管理職に速やかに報告をする。
- ・飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと。

④運営側の対応

- ・運営スタッフや審判員にも健康チェックシートなどの実施を行うこと。
- ・参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（イベントの受付場所等）に掲示すること。
- ・各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する。
- ・会場については、会場校校長の許可を得ること。（試合校や時間などを報告）
- ・会場には消毒液などを設置する。【専門部及び各チームで用意】
- ・選手やチームを集めるなど、密集することがないように配慮する。
例えば、試合前の整列は、監督またはキャプテン同士の挨拶とし、両チームが整列することを省くなど。
- ・試合間のインターバルを通常よりも長く設定し（複数の試合がある場合は、1試合目のチームが退場してから、2試合目のチームが集まるなど）、選手ならびに関係者の密集のリスクを回避する工夫をすること。

例えば、1日で2試合を行う場合

	第1試合	第2試合
集合・準備	8 : 0 0	1 2 : 0 0
	体調確認・アップ	体調確認・アップ
試合	9 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0	1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0
	片付け・着替え等	片付け・着替え
退場	1 1 : 3 0	1 5 : 3 0
	消毒作業	消毒作業

- ・物の共有は可能な限り避ける。

⑤大会運営サイドで準備すべき事項の対応

【手洗い場所】

- ・手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること【専門部で用意】
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示をする【専門部で用意】
- ・手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意する
（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい）

【更衣室、休憩・待機スペース】

- ・広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する
- ・複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、取手、テーブル、いす等）についてはこまめに消毒すること

【洗面所】

- ・複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、取手、テーブル、いす等）についてはこまめに消毒すること
- ・トイレの蓋を閉めて汚物を流すように表示すること
- ・手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること【専門部で用意】
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示をする【専門部で用意】
- ・手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意する
（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい）

~~【観客の管理】~~

- ~~・観客同士が密な状態にならないように、必要に応じて、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること~~
- ~~・大声での声援を送らないことや会話を控えること~~
- ~~・会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること~~

⑥参加者が遵守すべき事項

- ・体調がよくない場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われている場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は自主的に参加を見合わせる。
- ・感染予防のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無などについて報告すること。
- ・マスクを持参のうえ、移動時や着替えの時等のスポーツ活動以外の際には、できるだけマスクを着用する。
- ・マスクを外して活動する場合は、十分に周囲の人との距離を空ける。マスクを着用して活動する場合は運動強度を落とす。
- ・目、鼻、口も極力触らないように心掛ける。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- ・プレー中に必要以上に大きな声で会話や応援等を行わない。拍手などの応援を行う。
- ・タオル、ペットボトル、コップ等の共有は避ける。
- ・飲食をする場合は指定場所で、対面を避け距離も考える。

⑦参加者が活動する際の留意点

- ・活動中は感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること。
- ・グラウンドに痰や唾を吐かないこと。
- ・タオルなどの共有はしない。
- ・肌が触れ合うハイタッチなどを行わず、各々コミュニケーション方法を模索する。

⑧その他

- ・球審はマスクを着用することが望ましい。ただし、インニングの合間にこまめに水分を補給するなどして、熱中症の予防には十分に注意すること。
- ・万が一、感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることが無いように配慮する。
- ・観客が入る場合は、密集・密接にならないように配慮すること。大声での応援なども控えるように協力をお願いすること。

(5) 熱中症対策

- ・6月15日から活動を再開しているものの、基礎体力は十分に戻っていない選手がいることを念頭におき、熱中症対策を行う。
- ・夏場のマスク着用での生活は多くの人が経験したことがない状況であると思われる。選手や指導者のみならず、すべての人において熱中症への警戒が必要である。

- ・各自で水筒を準備するように指導し、休息や水分休憩の時間を積極的に設ける。
例えば、守備時間が長くなった場合は、水分補給の時間を設け、その後同じ場面から始めるなど。
- ・経口補水液については、各チームで用意する。

<参考資料>

- ※スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防について（令和２年５月１４日 日本スポーツ協会）
- ※船橋市における公共施設再開に向けての基本的な基準（令和２年６月１５日 船橋市）
- ※ＪＳＢＢ感染予防対策ガイドライン（令和２年６月４日 公益財団法人全日本軟式野球連盟）
- ※新型コロナウイルス感染予防のためのガイドライン（令和２年５月２２日 一般財団法人全日本野球協会）